責任準備金繰入	657,982	貸倒引当金戻入	232,664
貸倒引当金繰入	230,593	事業外収益	928
事業外費用	0		
（特別損失）			
固定資産除却損	1		
合計	917,741	合計	917,741

○重要な会計方針等

1．有価証券の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法によっている。

2．固定資産の減価償却方法

定額法を採用している。なお、減価償却累計額は次のとおりである。

有形固定資産　433百万円

また、主な耐用年数は次のとおりである。

建物　　8年～18年

その他　3年～20年

3．引当金の計上基準

⑴　貸倒引当金

破産、民事再生等法的に経営破綻の事実が発生している債務者に係る債権及びそれと同等の状況にある債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上している。また、現在は経営破綻の状況にないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者に係る債権については、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上している。上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率に基づき計上している。

日本振興銀行向け貸付金元本残額は日本振興清算株式会社に引き継がれており、同社では「今後の弁済見込みは確定していない」としていることから、平成24事業年度同様に貸付金元本残額の全額（引当率100％）としている。

⑵　退職給与引当金

役職員の退職金の支給に備えるため、期末要支給額を基準として計上している。

4．責任準備金の計上

預金保険法（昭和46年法律第34号）第41条により、一般勘定について、内閣府令・財務省令で定めるところにより、毎事業年度末において、責任準備金を計算し、これを積み立てなければならない。また、預金保険法施行規則（昭和46年大蔵省令第28号）第15条において、毎事業年度累積して積み立てなければならない責任準備金の額は、当該事業年度における収益の額から費用（責任準備金繰入を除く。）及び繰越欠損金の合計額を控除した金額に相当する金額とされている。

5．その他財務諸表作成のための重要な事項

⑴　消費税等の会計処理方法

税込方式によっている。

⑵　その他

①　預金保険法附則第７条の規定による協定銀行からの納付金について、協定銀行である整理回収機構から、決算に基づく平成25年度分納付金納付申告書の提出を平成26年５月26日に受けた。整理回収機構では、平成25事業年度で費用処理されているが、当機構では会計規程第４条第２項の規定に基づき翌事業年度の収益となる。

これにより、翌事業年度の損益に与える影響額は、協定銀行納付金収入47,075百万円（うち国庫納付金見込額は、13,791百万円）の見込みである。

②　平成26年３月24日の第242回運営委員会における平成25事業年度の保険料率の決定に基づき保険料の返戻を行うことから、保険料返戻相当127,801百万円を含む、預り金127,821百万円を計上している。

危機対応勘定

貸　借　対　照　表

（平成26年３月31日現在）

（単位：百万円）

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
（流動資産）	403,752	（流動負債）	269,397
現金・預金	499	短期借入金	269,300
有価証券	403,226	未払金	4
未収収益	26	未払費用	93
未収金	0	（固定負債）	
（固定資産）	196,000	退職給与引当金	0
取得株式等	196,000	（負債合計）	269,398
有形固定資産	0	（剰余金）	
建物	0	利益剰余金	330,353
工具・器具・備品	0	積立金	266,967
		当期未処分利益	63,386
		（純資産合計）	330,353
資産合計	599,752	負債・純資産合計	599,752

㈱　各計数は、単位未満切捨て。

損　益　計　算　書

（自平成25年４月１日　至平成26年３月31日）

（単位：百万円）

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
（経常費用）	412	（経常収益）	63,798
取得株式等事業費		取得株式等事業収入	63,753
取得株式等処分事務費	12	取得株式等配当金	10,773
一般管理費	12	取得株式等売却益	52,980
事業外費用		事業外収益	45
借入金利息	387		
（当期利益金）	63,386		
合計	63,798	合計	63,798

㈱１．当期利益金63,386百万円は、預金保険法施行規則（昭和46年大蔵省令第28号）第３条の規定により、次期の積立金として整理する。

２．各計数は、単位未満切捨て。